

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：24502
学校名：小野幌小学校

改訂のポイント

○ICTを活用し、子どもが自ら「問い」をもち、主体的に課題探究を行う授業の構築。
○学びを深めるための教師の関わりを大切にしていく。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆課題探究的な学習の中で、子どもが「問い」をもち、主体的に学習していく子ども。 ☆自己や他者との関わりの中で、つながりを実感しながら学びに向かう子ども。		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 ○子どもが。～したいという「問い」をもち、主体的に学べる教材化を図った。	【成果】 ⇒課題を明確にすることで、自ら課題を設定し、主体的に探究的に学びを進める子どもの姿が見られた。	【課題】 ◇子どもが、自ら課題意識をもち、更に、主体的に学習に取り組む態度を育てること。 ◇デジタルと、アナログを両方バランスよく学習に取り入れる。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○協働的な深い学びの追究。	【成果】 ⇒ICTは考えるきっかけであり、学びを深める教師の関わり方が改善された。 ⇒カメラ機能を用い、的確に課題を把握することで、客観的に評価しやすくなった。	【課題】 ◇更に、学びを深めていくための教師の関わり方の工夫。 ◇ICT活用のための時間配分と活用方法の探究。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○授業の終末におけるふりかえりの実施。 ○全学級による授業づくり。 ○高学年における教科担任制の実施。	【成果】 ⇒学習の振り返りを書いたり、話したりできる子どもが増えてきた。 ⇒ICTを活用した教師の指導力が向上した。	【課題】 ◇個別の学習支援や家庭との協働した学習を推進し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 ICTを活用し、協働して学びを深める子どもの育成（ICTを活用した課題探究的な学習の充実）		
	具体的な改善策（取組）	○子どもが主体的に学ぶことができる課題探究・課題解決の学習の充実。 ○ICTのどのアプリがどの教科や単元でより有用なのか、活用法の追求と、学年段階に応じた身に付ける基準の作成。 ○「学びに意味のある教材化」と、「学びを深める教師の関わり」を視点とした全学級による授業づくり。 ○基礎・基本の学力定着のための学び方の工夫。 ○小中一貫した教育を進めるため、中学校との教育課程の共有や授業交流、合同研修などによる校種間連携の強化。 ○子ども・家庭・学校が学びでつながる家庭学習『学びのススメ』と本校の家庭学習に関する情報発信。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等）。 ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用。 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）、ICTの活用に係るアンケートの具体的な活用。 ○保護者や教職員アンケート、児童の振り返りカード、職員の学校評価、学校関係者評価委員の評価などの活用。		